

佐久総合病院のご案内

Together with Rural People
農民とともに



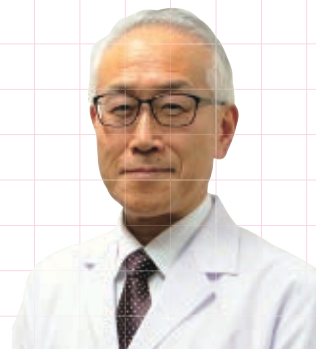
佐久病院理念

佐久病院は「農民とともに」の精神で
医療および文化活動をつうじ、
住民のいのちと環境を守り、
生きがいのある暮らしが
実現できるような地域づくりと
国際保健医療への貢献を旨とします。

ご挨拶

佐久総合病院は第二次世界大戦中の昭和19年1月、20床の病院としてスタートしました。翌20年3月に赴任した外科医・若月俊一の、その生涯をかけた地域医療の実践によって大きく発展しましたが、その理念が「農民とともに」という言葉に集約されています。現在3病院、1診療所、2老人保健施設、サテライトも含めた7訪問看護ステーション、1宅老所からなり、関連施設として農村保健研修センター、日本農村医学研究所、佐久東洋医学研究所を有しています。加えてJA長野厚生連健康管理センターおよび佐久総合病院看護専門学校の運営を実質的に担ってまいりました。

平成7年から始まった病院の再構築事業が、行政や地域住民の皆さまをはじめ多くの方々のご理解とご支援のもと、平成31年3月にハード面で終了しました。これを新たな出発点とし、保健予防活動から高度急性期・専門医療、また教育、研究に至るまで、ソフト面の充実を図ってまいります。今後もより一層、地域のニーズに応え、皆さまのお役に立てる病院グループとして役割を果たしてまいりますので、どうかよろしく願いいたします。



JA長野厚生連
佐久総合病院統括院長
渡辺 仁

佐久総合病院は、昭和19年1月に産業組合（現在の農業協同組合）の病院として発足しました。当時、南佐久郡23カ町村のうち、13カ町村は無医村でした。以来、農村地域の医療を守る活動を続けるなかで、私たちは一貫して「地域住民の要望」に応える医療の実践を心がけてきました。



行動目標

1

第一線医療の充実と高度専門医療の向上をはかり、地域完結型医療体制の確立を目指します。

2

農業と地域社会の問題を直視し、メディコ・ポリス構想の精神を継承して、地域の内発的発展に協働します。

3

研究と教育は病院の重要な役割であることを自覚し、佐久病院らしい医師教育、職員教育および研究活動の充実をはかります。

4

プライマリ・ヘルス・ケアを包含する農村医学の考え方を学習し、実践するとともに、発展途上国の国際保健医療に貢献します。

5

患者さんを第一に考え、医療の質向上および患者安全、職員満足の向上を目的とする活動を推進します。

患者さんの権利と責任

- 一、適切な治療を受ける権利
- 二、人格を尊重される権利
- 三、プライバシーを保証される権利

- 四、医療上の情報の説明を受ける権利

- 五、関係法規や病院の諸規則を知る権利

— など —

これらの人間としての倫理原則をお互いに大切にしなければなりません。

しかし、患者さんも、病院から指示された療養については、専心これを守ることを心がけねばならない。医師と協力して療養の効果をあげることも大切なのである。

一九八三年一月

- 六、安全な医療を受ける権利

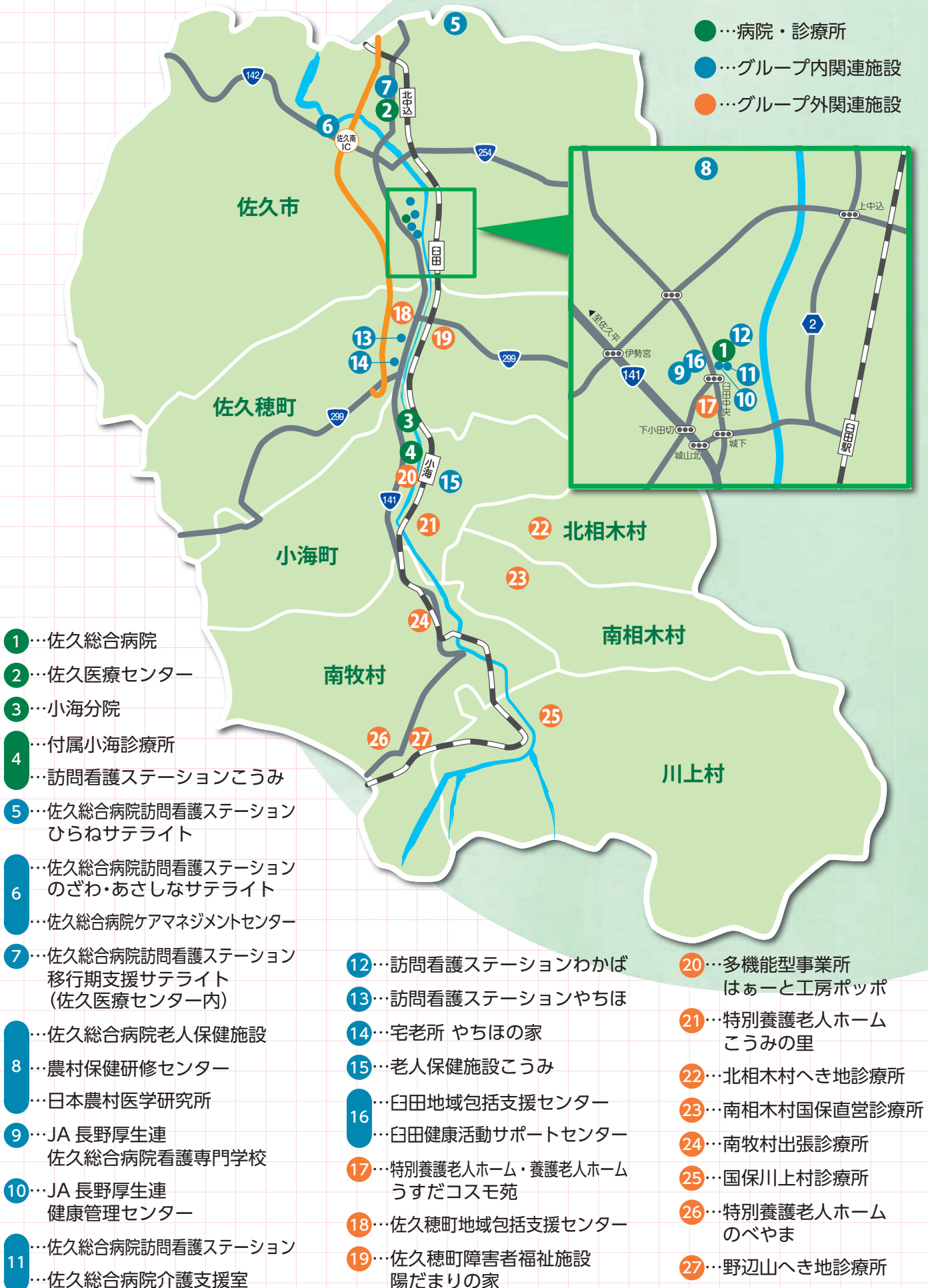
- 七、自己決定の権利

- 八、苦情を申し立てる権利
- 九、セカンドオピニオンを求める権利

二〇〇四年十二月追記

佐久総合病院

佐久総合病院グループと関連地域医療ネットワーク





生きがいと安心のある地域づくりをめざして

佐久総合病院(本院)では、2014(平成26)年から病院再構築事業として工事が行われ、2019(平成31)年3月にすべてが完了しました。2017(平成29)年5月からの新築北病棟の稼働により、地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟などが整備され、地域の皆さまにより安心して医療を受けていただける環境になりました。

現在は佐久総合病院グループの強みを活かし、グループ内の連携、地域の医療機関や介護・福祉施設との連携を強化し、地域包括ケアシステムと地域完結型医療の発展に取り組んでいます。今後も患者さんにとってよりよい医療を提供し、地域の皆さまが安心して暮らせるよう保健・医療・福祉が一体化した地域づくりをめざします。

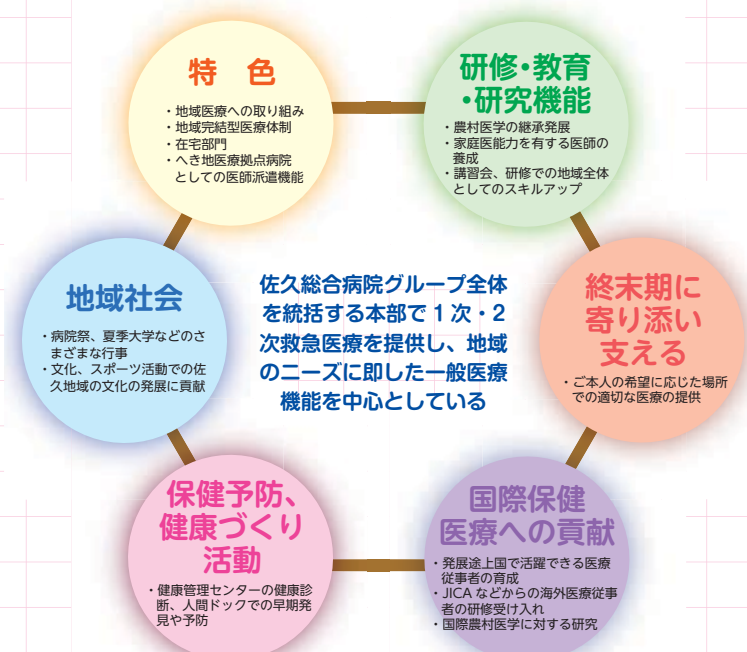
標榜科目

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、代謝・内分泌内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、感染症内科、脳神経内科、心療内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、ペインクリニック科、形成外科、歯科口腔外科、歯科、矯正歯科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、女性泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、アレルギー科、リハビリテーション科、放射線診断科、麻酔科、救急科、病理診断科、臨床検査科

(診療科目とは異なる場合があります。受診の際はご相談ください)

●病床数309床内訳

病床区分	病床数	届け出している入院料と許可病床数
一般病床	197床	急性期一般入院4(126床)
		回復期リハビリテーション病棟1(40床)
		人間ドック(31床)
精神病床	70床	精神病棟15対1
療養病床	42床	地域包括ケア病棟2



▲佐久総合病院の基本構想

指定機関

- ・救急告示病院
- ・へき地医療拠点病院
- ・エイズ治療拠点病院
- ・臨床研修指定病院
- ・病院群輪番制病院
- ・認知症疾患医療センター
- ・高次脳機能障害支援拠点病院





急性期・高度専門医療の実践

佐久医療センターは、急性期・高度専門医療を担う紹介型の病院として2014（平成26）年3月に開院しました。

第一線の地域医療を担う“かかりつけ医”から紹介される患者さんを主に診療する「地域医療支援病院」のほか、「災害拠点病院」、「地域周産期母子医療センター」、「地域がん診療連携拠点病院」などの指定を受けています。また、2019（令和元）年9月から院内に佐久総合病院訪問看護ステーション移行期支援サテライトを開設して、入退院支援や移行期支援の取り組みを強化しています。

東信地域における基幹病院としての役割を担い、地域完結型医療を実践するとともに、超高齢社会に向けた地域包括ケアシステムの構築を推進していきます。

5つのセンター機能

1.救命救急センター

重症および複数の診療領域にわたる重篤な救急患者さんに対して、高度な救命救急医療を24時間かつ横断的組織体制で提供します。

2.脳卒中・循環器病センター

脳血管疾患・循環器疾患などに対して、外科治療および薬物・カテーテル治療を含めた内科的治療を速やかかつ安全に実施するとともに、リハビリテーション、栄養部門などとの連携による総合的な治療を実施します。

3.がん診療センター

佐久医療圏における地域がん診療連携拠点病院として、内科・外科・放射線科・緩和ケアなどのチーム医療により集学的治療を実施します。

4.周産期母子医療センター

ハイリスクの母子を24時間体制で受け入れ、妊産婦・胎児・新生児の管理・治療を産科・小児科などのチームで実施します。安全で安心なお産をめざします。

5.高機能診断センター

高度な画像診断機器を備え、患者さんの拘束時間や苦痛をできるだけ少なくした検査を実施し、診療に役立つ正確な診断に心がけています。

6つの特徴

1. 専門医療機能

地域の医療機関からの紹介患者さんを中心に専門医療を実施し、高度な医療サービスを提供します。

2. 災害拠点病院

災害時における地域への診療提供を運営面・施設整備面において充実させ、安全・安心のよりどころとなる役割を果たします。

3. 地域医療支援

地域医療連携を推進し、地域の医療機関とのコミュニケーションを図り、地域医療支援病院としての役割を果たします。

4. 高機能診断

医療機器を有効利用し、高度な診断を行うとともに、地域の医療機関による共同利用を促進します。

5. 研修・教育

シミュレーション学習室を設置するとともに、医療を中心に保健・福祉に関するさまざまな研修・教育を実施します。また、臨床研修指定病院としての機能を充実させます。

6. 患者サポート機能

患者サポートセンターを外来フロアに設置し、さまざまな相談に対応することで、利用者サービスの向上に努めます。

標榜科目

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、腫瘍内科、感染症内科、緩和ケア内科、脳神経内科、心療内科、移植内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、移植外科、歯科口腔外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、アレルギー科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、臨床検査科

（診療科目とは異なる場合があります。受診の際はご相談ください）

●病床数450床内訳

病床区分	病床数	届け出している入院料と許可病床数
一般病床	446床	救命救急入院料1(15床)
		救命救急入院料4(5床)
		ハイケアユニット1(20床)
		特定集中治療室4(16床)
		新生児特定集中治療室2(6床)
		新生児治療回復室(12床)
		小児入院医療管理料4(30床)
急性期一般入院1(346床)		
感染症病床	4床	

指定機関

- ・救急告示指定病院
- ・救命救急センター
- ・地域災害医療センター（災害拠点病院）
- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・地域周産期母子医療センター
- ・臨床研修指定病院
- ・第2種感染症指定医療機関
- ・信州ドクターヘリ運航病院
- ・地域医療支援病院
- ・がんゲノム医療連携病院





小海分院

所在地 / 〒384-1103 長野県南佐久郡小海町大字豊里78番地
電話 / 0267-92-2077

南佐久南部の地域医療の中核病院として

八ヶ岳を望み、千曲川河畔に建つ、四季折々の景色が目を楽しませてくれる明るい病院です。南佐久南部地域は、過疎化・高齢化が進んでいますが、農業に従事する方々が多く、共同体意識も残り、人々の交わりも緊密です。南佐久南部地域の中核病院として地域の皆さまとの交流を大切にし、地域に密着しながら本院・佐久医療センターと協力して、地域のニーズに応える医療を展開していきます。

また、付属小海診療所、南佐久南部地域4カ村の診療所、佐久穂町立千曲病院、近隣医療機関との連携を緊密にし、老人保健施設こうみや特別養護老人ホームのべやま、特別養護老人ホームこうみの里などの介護保険施設、自治体との協力体制を強め、「南部モデル」というべき医療・福祉・介護のネットワークを構築し、南佐久南部地域の方々の健康と暮らしを守るお手伝いをしていきます。

標榜科目

内科、小児科、外科、整形外科
リハビリテーション科
(診療科目とは異なる場合があります。受診の際はご相談ください)



● 病床数99床内訳

病床区分	病床数	届け出している入院料と許可病床数
一般病床	50床	急性期(DPC) (42床) 回復期(8床)
療養病床	49床	慢性期(49床)



付属小海診療所

所在地 / 〒384-1102 長野県南佐久郡小海町小海4269番地9
電話 / 0267-92-2163

地域に親しまれる診療所として

小海診療所はJR小海駅や商店街に隣接する利便性を活かし、小規模の医療機関ならではの即応性のある親切・丁寧な対応を職員一同で心がけて、地域に親しまれる医療機関をめざしています。

外来診療に加えて在宅訪問診療にも力を入れており、幅広い地区で訪問診療を展開しています。訪問看護ステーションこうみを併設し、24時間365日体制で対応しています。

また、老人保健施設や特別養護老人ホーム、さらに併設されている障がい福祉サービス多機能型事業所とも連携し、地域包括ケアを展開する立場から、研修医の「地域保健・地域医療研修」の場としても重要な役割を果たしています。小海分院・本院・佐久医療センターと密に連携し、在宅一外来一入院と切れ目のない医療を提供できるよう努力し、地域に根ざした活動を続けていきます。

標榜科目

内科、皮膚科、眼科
(診療科目とは異なる場合があります。受診の際はご相談ください)



佐久総合病院老人保健施設

所在地 / 〒384-0301 長野県佐久市臼田779番地4
電話 / 0267-82-7100

介護の歯車のひとつとして

佐久総合病院老人保健施設は昭和62年7月16日に開設され、平成25年9月1日に現在の旧美里分院の建物に移転しました。

これからの老人保健施設に求められる役割として、在宅支援・在宅復帰のための地域拠点となること、リハビリテーションを提供する機能維持・回復の役割を担うことが挙げられます。病院などの医療の場と自宅などの生活の場を結ぶ中間施設として、これからも利用者さん主体を基本に、医療機関やさまざまな介護サービス事業所と連携しながら、地域を支える介護の歯車のひとつとして機能していきます。



サービス内容

- 入所サービス 定員99名
 - 施設(長期)入所
在宅復帰に向けたリハビリテーション目的や、農繁期や厳冬期などの介護者の事情などによる、1カ月以上の比較的長期間の入所。
 - 短期入所(ショートステイ)
介護者の休養などの事情による数日から1カ月未満の短期間入所。
- 通所サービス 定員40名
 - 通所リハビリテーション(デイケア)
自宅から通って行われるリハビリテーションや食事、入浴などのサービス。



老人保健施設こうみ

所在地 / 〒384-1102 長野県南佐久郡小海町小海4487番地1
電話 / 0267-92-5500

介護に職員の心をこめて

老人保健施設こうみは地域の皆さまのご支援・ご協力のもと平成13年4月に開設し、平成24年4月に増改築をしました。南佐久南部地域で唯一、理学療法士と作業療法士が在籍しており、リハビリテーションを提供できる施設です。通所サービスでは温泉風の岩風呂があり、隣接した土村公園では時期になるとヤマユリやハナモモ、ツツジがきれいに咲きます。

利用者さんの平均年齢は87歳前後ですが、在宅復帰をされる方も多くいます。医療機関や在宅介護サービス事業所との連携をますます密にしながら、南佐久南部地域に心のこもった質の高い介護サービスを今後も提供していきます。



サービス内容

- 入所サービス 定員80名
 - 施設(長期)入所
 - 短期入所(ショートステイ)
- 通所サービス 定員20名
 - 通所リハビリテーション(デイケア)
- 訪問サービス
 - 訪問リハビリテーション
- こうみ居宅介護支援事業所
 - 居宅サービス計画書作成、ケアマネジメント。

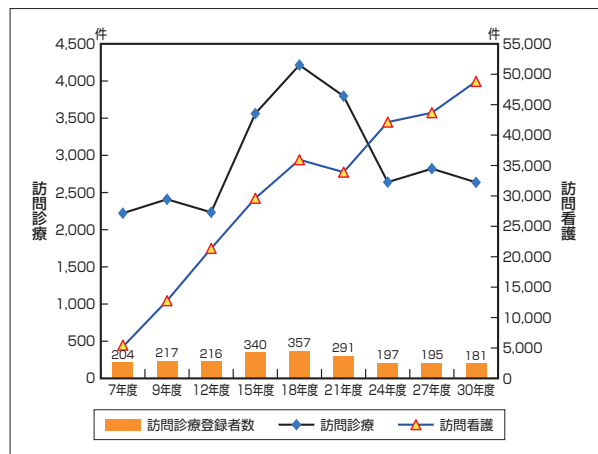


訪問看護ステーション

いのちとくらしに寄り添って

私たちの訪問看護ステーションは24時間体制で稼働しており、佐久地域の在宅医療・在宅ケアを支える要になっています。地域包括ケアシステムの発展や医療機関の機能分化を維持できるように、佐久総合病院グループ(本院・佐久医療センター・小海分院)や他の医療機関とも提携して、今後もしっかり地域医療を支えていきます。

●訪問診療・訪問看護実績推移(平成7~30年度)



訪問看護ステーション一覧

佐久総合病院 訪問看護ステーション

所在地 長野県佐久市臼田197番地 電話 0267-82-8210

佐久総合病院訪問看護ステーションのざわ・あさしなサテライト

所在地 長野県佐久市伴野1489番地 電話 0267-62-0167

訪問看護ステーション やちほ

所在地 長野県南佐久郡佐久穂町畑660番地 電話 0267-88-4848

訪問看護ステーション わかば(佐久総合病院 心のケアセンター内)

所在地 長野県佐久市臼田197番地 電話 0267-78-7101

佐久総合病院訪問看護ステーション ひらねサテライト

所在地 長野県佐久市上平尾字宿1015番地2 電話 0267-77-7799

佐久総合病院訪問看護ステーション 移行期支援サテライト(佐久医療センター内)

所在地 長野県佐久市中込3400番地28 電話 0267-62-8181(代表)

訪問看護ステーション こうみ

所在地 長野県南佐久郡小海町小海4269番地9 電話 0267-91-2110



うち 宅老所 やちほの家

地域で過ごせる場所として

宅老所やちほの家は、平成16年に旧八千穂村（現在の佐久穂町）からの要請に応え、「認知症の高齢者や独り暮らしの高齢者などが、住み慣れた地域で生活できるよう支援すること」を目的に開所されました。

利用者さんには自宅で生活するのと同じように、畑で野菜を育てたり、くつろいだりしながら、ゆっくりとした時間を過ごしていただいています。

名称／宅老所 やちほの家

所在地／〒384-0701 長野県南佐久郡佐久穂町大字畑上畑996番地1

電話／0267-88-2317 FAX／0267-88-2317

JA長野厚生連健康管理センター

保健予防活動の取り組み ～健診を受けよう～

JA長野厚生連健康管理センターは、昭和48年に佐久総合病院に併設されました。以来、長野県下全域で巡回健診方式による集団健康スクリーニングを実施し、現在は年間約6万5千人あまりの地域の皆さまに受診していただいています。集団健診や各種がん検診、JAの健康づくり自己チェック、保健指導など、住民のニーズに合わせた事業を展開しています。また、企業や事業所などのストレスチェックも実施しています。

健康格差がいわれている現在、地域づくりやコミュニティ・ネットワークづくりを大切に、一人でも多くの方が年1回の健康チェックを受けていただけるようなアプローチをするとともに、住民の主体性を大事にしながら取り組んでいます。



名称／JA長野厚生連健康管理センター

所在地／〒384-0301 長野県佐久市臼田197番地

電話／0267-82-2677 FAX／0267-82-7034



NHK「プロジェクトX」出演時(若月名誉総長)

長寿信州・低医療費の 基盤づくりに貢献

佐久総合病院は約70年前から出張診療を始めました。旧八千穂村で実施した全村健康管理は長野県全域の集団健康スクリーニングに発展し、それが全国の集団健診のモデルになりました。

「早期発見」「早期治療」「予防は治療に勝る」を合言葉に、地域住民の自主的な健康づくり運動を大切にしながら、今日まで健康を守る運動に地域の皆さまとともに取り組んできました。長寿でありながら全国的にみても低い医療費を保つ長野県健康特性の成果に貢献しています。

◀集団健康スクリーニングの様子

JA長野厚生連佐久総合病院看護専門学校

「いのちの学び ひとすじに」

本校は「地域の人々の保健・医療・福祉の向上に貢献できる看護の実践者を育成する」ことを教育目的に掲げ、設立以来60年の歴史を数え4,829名の卒業生を輩出してきました。多くの卒業生が県内各厚生連事業所で活躍しています。

JA長野厚生連から奨学貸与金の貸与を受け、学業に集中できることは、3年間で看護師国家資格を取得することへの大きな力添えとなります。

学生たちは、地域に根差した医療拠点である佐久総合病院とその関連施設で学んでいます。実験農場での農業体験や農村医学など特徴的な授業を受け、現在の地域医療・地域包括ケアをリアルに学習できることが本校の強みとなっています。



戴帽式▶

名称／佐久総合病院看護専門学校

所在地／〒384-0301 長野県佐久市臼田2238番地

電話／0267-82-2474 FAX／0267-82-2152



▶農業体験の様子



(一財) 農村保健研修センター

学問を討論の中から・ 医療関係者の研修施設

昭和52年に厚生省（現在の厚生労働省）・農林水産省の指導のもと、農山村地域住民の保健・医療・福祉の一層の向上を図るために、関係者の再教育機関として設立されました。以来医療・社会情勢に沿ったテーマでセミナーを企画し、全国各地からご参加いただいています。当センターのモットーは若月俊一先生の意向を継いだ「学問を討論の中から」です。講義終了後の情報交換会では、講師・参加者ともにお酒を酌み交わしながら話に花が咲き、有効な情報交換ができます。

また、朝食時の朝カフェでは、農村保健研修センター隣の有機実験農場で採れた「安全な野菜」を使ったメニューをお出ししています。セミナーはもちろんのこと、他にはない情報交換会や朝カフェも楽しみにお越しください。

名称／(一財)農村保健研修センター
所在地／〒384-0301 長野県佐久市臼田787番地
電話／0267-82-5800 F A X／0267-82-5801
ホームページ／<http://www.nouson-rhtc.jp/>



▲研修センター 春



▲セミナーグループワーク



▲情報交換会



▲朝カフェ

(一財) 日本農村医学研究会 日本農村医学研究所

農業に安全を 農村に安心と健康を

昭和39年、農薬中毒や動力農機具による疲労と災害、人畜共通伝染病や農村病など、農民の健康障害の実態を明らかにするために設立されました。

現在、農業従事者・農村住民・農村地域に関わるさまざまな健康課題への解決に向けて、農業に起因する災害防止の啓発や地域食材を活かしたおいしい健康食の開発・普及、農を通じた健康教育などを実践的に取り組み、安心・安全な農村づくりや仲間づくりにも携わっています。

また、佐久市有機農業研究協議会の一員として、有機農業や環境保全型農業の普及に取り組み、健康な地域づくりや農業振興に努めています。

名称／(一財)日本農村医学研究会 日本農村医学研究所
所在地／〒384-0301 長野県佐久市臼田787番地
電話／0267-82-2485 F A X／0267-82-5801



佐久東洋医学研究所

寄り添う医療をめざして

西洋医学が科学的検査によって病気の原因を治療するのにに対し、東洋医学は患者さんの日常生活習慣や自覚症状、脈や舌を診たりする他覚所見を重視した診察を行い、副交感神経に働きかけ、自然治癒力を高める治療を行います。

最近の研究では、鍼は筋肉の柔軟性や動きの改善にも効果があることが分かってきました。私たちは、東洋医学を上手に取り入れて皆さまの健康を維持するお手伝いをいたします。



名称／佐久東洋医学研究所
所在地／〒384-0301 長野県佐久市臼田197番地
電話／0267-82-2525 F A X／0267-82-2525

名称／佐久東洋医学研究所 小海治療室
所在地／〒384-1102 長野県南佐久郡小海町小海4269番地9
電話／0267-92-3051 F A X／0267-92-3051



〈臼田〉 受付 8:30~16:00 月曜~金曜 ※水曜休診
8:30~11:30 第2・4土曜
〈小海〉 受付 8:30~16:00 水・金曜
8:30~11:30 木曜

地域の中へ

健康な 地域づくり

～地域との交流の架け橋に～



院内ボランティア謝意の会

佐久総合病院は、設立当初から医療運動とともに文化活動にも積極的に取り組んできました。

昭和22年から旧臼田町（現佐久市）の小満祭に合わせて毎年5月に病院祭を行っており、昭和36年からは毎年、農村医学夏季大学講座を開催しています。院内ボランティア、佐久地域保健福祉大学などの活動を行うほか、地域の健康・福祉まつりや、JA・市町村・関係機関と連携した学習活動などにも積極的に参加しています。



臼田地区健康と福祉のつどい
(臼田総合福祉センターあいとびあ田)



こみふれ愛秋祭り(小海分院)



病院祭



佐久医療センター秋祭り



農村医学夏季大学講座



佐久地域保健福祉大学開講式

労働組合文化活動

病院の労働組合にはたくさんの専門部が存在し、コーラス部や吹奏楽団、野球部やバレー部、舞踊班や茶道班など、さまざまな種類のサークルがあります。院内や地域での活動はもとより、県内外の大会に出場するなど、積極的に活動を展開し、好成績を残しています。

専門部一覧

- ・ 地域活動部 ・ 情宣部 ・ 劇団部
- ・ 青年部 ・ 女性部
- ・ 文化部：舞踊班 茶道班 華道班 写真班
映像記録部
- ・ 音楽部：コーラス部 ギターマンドリンクラブ
GDK吹奏楽団 楽団ブルーフェニックス
ミルク&カウボーイズ
- ・ 体育部：野球部 バレー部 卓球部 応援団



◀卓球部



▲茶道班



◀ミルク&カウボーイズ



▲野球部

国際保健医療

当院は、国際保健医療への貢献を理念に掲げ、国内外から多数の研修生を受け入れています。

地域医療や農村医学研究の経験と成果を生かして国際協力活動を進めるため、1994年に国際保健医療科が設立されました。2013年には国際保健委員会が新設され、医師や看護師、臨床検査技師、管理部職員など、約40名が職場の垣根を超えて活動しています。

2014年2月には、「現職参加制度」を採用しました。青年海外協力隊などに参加して国際協力をしたいと希望する職員を、佐久病院の職員の身分を保ったまま派遣できるように病院として応援する制度で、実際にこれを活用した職員の海外派遣を実施しています。

また、海外研修生の受け入れプログラムの企画・実施に加え、広く日本の地域医療や国際保健医療を志す人向けに「佐久国際保健セミナー」や「グローバルカフェ」などの勉強会を開催したり、仕事や留学で海外へ出かける方を対象とした「海外渡航者外来」で診療を行ったりもしています。



▲グローバルカフェ「フィリピン大学医学部レイテ分校での国際保健医療科研修報告会」

佐久総合病院の研修・教育活動

安全で安心な農村に 農民への思いやりの心を育む

地域住民のニーズを把握し、地域の保健・医療・福祉を理解して実践するために、地域へ出ていくことを重視し、在宅ケア（訪問診療）、健診活動への参加など、院外での研修も積極的に行なっています。

研修医教育では、初期研修の2年間を通じて本院の総合外来で週1回初診患者さんを受け持ち、あらゆる疾患の診断能力を養います。また、小海分院や付属小海診療所における研修や訪問診療などを通じて地域医療の本質を学び、佐久医療センターでは救命救急センターと各診療科の研修を通じて3次救急や専門医療の深さを学びます。初期研修・専門研修において、あらゆるフィールドでの研修を可能としています。

多職種連携を重視し、職員全員で新人を育成する仕組みづくりや国際保健医療に貢献できる人材育成など、教育体制のさらなる強化に努めています。



▲初期研修医 OSCE（客観的臨床能力試験）



沿革

- 昭和 19年 1月 病院開設
- 20年 3月 若月俊一が外科医長として赴任
- 12月 出張診療活動を始める
- 22年 5月 第1回衛生展覧会「病院まつり」を開催
- 10月 戦後、全国初の病院給食を行う
- 25年 カリエス手術に取り組む
- 29年 4月 健康管理部を新設、保健予防活動にさらに力を入れる
- 9月 小海町診療所開設
- 34年 6月 八千穂村全村健康管理始まる
- 36年 8月 第1回農村医学夏季大学講座開講
- 38年 1月 日本農村医学研究所設立
- 43年 7月 臨床研修病院に指定される
- 44年 10月 第4回国際農村医学会議開催(於 臼田町)
- 48年 10月 JA 長野厚生連健康管理センター併設
全県下にわたる「集団健康スクリーニング」開始
- 52年 11月 農村保健研修センター設立、教育研修事業始まる
- 58年 3月 がん診療センター完成
- 10月 救命救急センター(ICU)完成
- 62年 4月 佐久総合病院老人保健施設開所(全国7モデルの一つ)
- 平成 6年 4月 地域災害拠点病院に指定される
- 5月 県内初の日帰り手術センター設立
- 9月 療養型病床群(完全型)開設
- 10月 地域医療部を新設し、「地域ケア科」を確立
- 12年 2月 新付属小海診療所移転(小海駅駅舎内)
- 13年 4月 佐久総合病院美里分院、老人保健施設こらみ開設
- 15年 4月 小海赤十字病院の後医療を受け、小海分院開設
- 17年 7月 新小海分院完成
- 7月 信州ドクターヘリ運航開始
- 23年 12月 佐久総合病院佐久医療センター新築工事の起工式
- 26年 3月 佐久総合病院佐久医療センター開院
本院増築工事開始
- 27年 6月 佐久医療センター地域医療支援病院に承認
- 29年 3月 本院新病棟(北病棟)竣工
- 31年 3月 本院増築第2期工事竣工・再構築事業完了

佐久総合病院グループ概況

-
- 名 称/長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院
- 所 在 地/〒384-0301
長野県佐久市臼田 197 番地
- 電 話/TEL: 0267-82-3131(代表)
FAX: 0267-82-9638
- 開 設/昭和 19年 1月 19日
- 統括院長/渡 辺 仁
-
- 名 称/長野県厚生農業協同組合連合会
佐久総合病院 佐久医療センター
- 所 在 地/〒385-0051
長野県佐久市中込 3400 番地 28
- 電 話/TEL: 0267-62-8181(代表)
FAX: 0267-88-7354
- 開 設/平成 26年 3月 1日
- 院 長/石 毛 広 雪
-
- 名 称/長野県厚生農業協同組合連合会
佐久総合病院 小海分院
- 所 在 地/〒384-1103
長野県南佐久郡小海町大字豊里 78 番地
- 電 話/TEL: 0267-92-2077
FAX: 0267-92-2441
- 開 設/平成 15年 4月 1日
- 分 院 長/山 口 博
-
- 名 称/長野県厚生農業協同組合連合会
佐久総合病院 付属小海診療所
- 所 在 地/〒384-1102
長野県南佐久郡小海町小海 4269 番地 9
- 電 話/TEL: 0267-92-2163
FAX: 0267-92-3846
- 開 設/昭和 29年 9月 6日
- 診療所長/木 下 裕 介
-

交通機関の案内

佐久総合病院 (本院)

- ・北陸新幹線「佐久平駅」から車で約 20 分
- ・中部横断自動車道「佐久臼田 I.C.」から車で約 5 分
- ・JR 小海線「臼田駅」から徒歩で約 15 分
- ・高速バス(池袋・新宿→佐久)「臼田(佐久総合病院)」下車

佐久医療センター

- ・北陸新幹線「佐久平駅」から車で約 10 分
- ・中部横断自動車道「佐久南 I.C.」(または「佐久中佐都 I.C.」)から車で約 10 分
- ・JR 小海線「北中込駅」から徒歩で約 5 分
- ・高速バス(池袋・新宿→佐久)「佐久医療センター」下車

小海分院

- ・JR 小海線「小海駅」から徒歩約 10 分
- ・中部横断自動車道「八千穂高原 I.C.」から車で約 10 分

